

令和7年9月22日

# 交通事故概況

令和7年8月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

# 北海道の交通事故概況（8月末計上数（確定数））

## 1 令和7年8月末の交通事故発生状況

区分\内容	8月中		8月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	704	30	5,218	-416
死者数（人）	14	-2	73	5
傷者数（人）	836	42	6,050	-603

[過去10年、8月中8月末の推移]

区分\年別	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	過去平均		R7年
											10か年	5か年	
8月中死者数	27	13	14	17	16	16	12	11	16	16	16	14	14
8月末死者数	115	88	89	92	85	85	78	67	80	68	85	76	73
年間死者数	177	158	148	141	152	144	120	115	131	104	139	123	

都道府県別（8月中）

順位	1	2			
都道府県名	北海道	東京	愛知	兵庫	三重
死者数	14	11			

都道府県別（8月末）

順位	1	2	3	4	5
都道府県名	東京	神奈川	大阪	北海道	千葉
死者数	85	83	76	73	73

## 2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

### (1) 8月中の死亡事故（死者14人）

- 事故類型別：車両単独が6人(42.9%)、人対車両が3人(21.4%)
- 道路別：国道が8人(57.1%)、市町村道が4人(28.6%)
- 地形・道路形状別：非市街地直線が5人(35.7%)、市街地交差点が4人(28.6%)
- 発生時間別：10～12時、12～14時が各々3人(21.4%)
- 第一当事者年齢別（第一当事者原付以上）：高齢運転者による死者が8人(57.1%)、50歳代運転手による死者が2人(14.3%)
- 第一当事者違反別（第一当事者原付以上）：前方不注意が6人(42.9%)、操作不適が4人(28.6%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が9人(64.3%)、50歳代の死者が2人(14.3%)

### (2) 8月末の死亡事故（死者73人）

- 事故類型別：
  - ・ 車両単独が30人41.1%（うち操作不適が16人53.3%、前方不注意が10人33.3%）
  - ・ 人対車両が17人23.3%（うち前方不注意が7人41.2%、歩行者妨害が4人23.5%）
  - ・ 正面衝突が14人19.2%（うち前方不注意が6人42.9%、操作不適が4人28.6%）
- 道路別：
  - ・ 国道が30人41.1%（うち車両単独が11人36.7%、正面衝突が9人30.0%）
  - ・ 市町村道が20人27.4%（うち人対車両が7人35.0%、車両単独が5人25.0%）
  - ・ 道道が14人19.2%（うち車両単独が6人42.9%、人対車両が4人28.6%）
- 地形・道路形状別：
  - ・ 非市街地直線が19人26.0%（うち車両単独が10人52.6%、正面衝突が6人31.6%）
  - ・ 市街地交差点が18人24.7%（うち人対車両が8人44.4%、出会い頭が4人22.2%）
- 発生時間別：
  - ・ 10～12時が11人15.1%（うち車両単独が7人63.6%、正面衝突が2人18.2%）
  - ・ 16～18時が11人15.1%（うち車両単独が3人27.3%、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々2人18.2%）
- 第一当事者年齢別（第一当事者原付以上）：
  - ・ 高齢運転者による死者が29人39.7%（うち車両単独17人58.6%、正面衝突が5人17.2%）
  - ・ 50歳代運転者による死者が12人16.4%（うち正面衝突、車両単独が各々3人25.0%）
- 第一当事者違反別（第一当事者原付以上）：
  - ・ 前方不注意が25人34.2%（うち車両単独が10人40.0%、人対車両が7人28.0%）
  - ・ 操作不適が21人28.8%（車両単独が16人76.2%、正面衝突が4人19.0%）
- 死者年齢別：
  - ・ 高齢者の死者が41人56.2%（うち車両単独が19人46.3%、人対車両が11人26.8%）
  - ・ 50歳代の死者が11人15.1%（うち正面衝突が4人36.4%、車両単独が3人27.3%）
- シートベルト非着用者：
  - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者41人中、シートベルト非着用者は20人(48.8%)であり、そのうち13人(65.0%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。

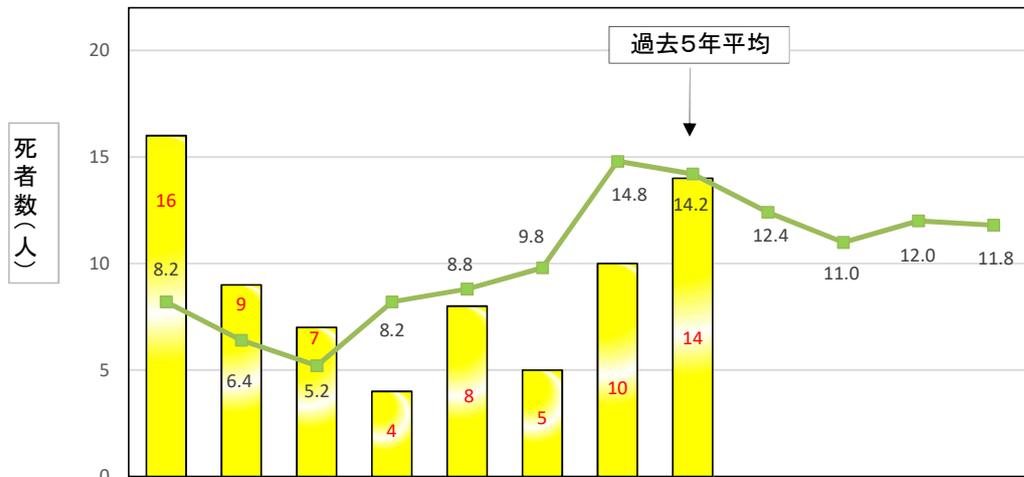
(3) 方面別発生状況

8月中の死者数は釧路方面が6人(42.9%)、北見方面が5人(35.7%)、札幌方面が3人(21.4%)となっている。  
 8月末の死者数は札幌方面が32人(43.8%)、釧路方面が18人(24.7%)、北見方面が12人(16.4%)、旭川方面が7人(9.6%)、函館方面が4人(5.5%)となっている。

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		
	前年比		前年比		前年比		
8月中	全道	704	30	14	-2	836	42
	札幌方面	490	-11	3	-6	593	2
	函館方面	60	22			74	24
	旭川方面	61	4		-2	75	15
	釧路方面	68	8	6	1	71	6
	北見方面	25	7	5	5	23	-5
8月末	全道	5,218	-416	73	5	6,050	-603
	札幌方面	3,799	-392	32	-2	4,407	-584
	函館方面	363	14	4	1	440	30
	旭川方面	480	20	7	-3	556	13
	釧路方面	430	-69	18	4	484	-65
	北見方面	146	11	12	5	163	3

(4) 月別発生状況の推移

8月中の死者数は14人で過去5年平均14.2人を下回っている。  
 8月末の死者数は73人で過去5年平均75.6人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和7年	16	9	7	4	8	5	10	14					73
年間累計	16	25	32	36	44	49	59	73					
過去5年平均	8.2	6.4	5.2	8.2	8.8	9.8	14.8	14.2	12.4	11.0	12.0	11.8	122.8
累計平均	8.2	14.6	19.8	28.0	36.8	46.6	61.4	75.6	88.0	99.0	111.0	122.8	

(5) 都道府県別死者数

8月中は北海道が14人で最も多く、次いで東京都、愛知県、兵庫県、三重県が各々11人となっている。  
 8月末は東京都が85人で最も多く、次いで神奈川県が83人、大阪府が76人、北海道、千葉県が各々73人で4位となっている。

区分\都道府県	北海道	東京	愛知	兵庫	三重	岩手	神奈川	大阪	岐阜	千葉	全国
8月中死者数	14	11	11	11	11	10	8	8	8	7	203
ワースト順位	1	2	2	2	2	6	7	7	7	10	-
前年比	-2	-2	-4	2	9	8	3	-1	2	-2	-43
増減率(%)	-12.5	-15.4	-26.7	22.2	450.0	400.0	60.0	-11.1	33.3	-22.2	-17.5

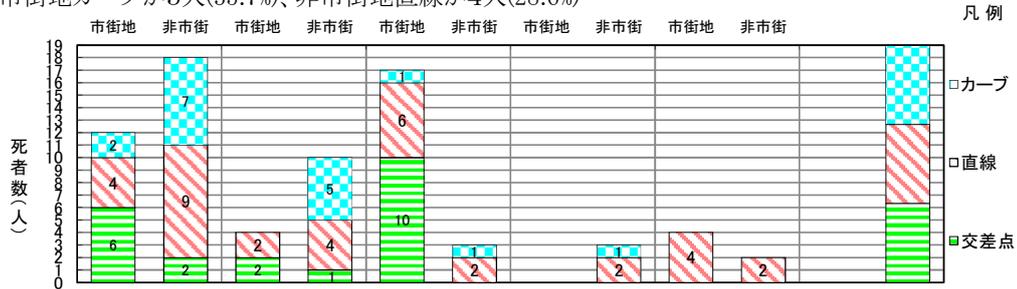
区分\都道府県	東京	神奈川	大阪	北海道	千葉	愛知	埼玉	兵庫	福岡	茨城	全国
8月末死者数	85	83	76	73	73	69	68	60	50	49	1,549
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	7	8	9	10	-
前年比	-4	18	-1	5	-17	-22	0	-10	-11	-13	-106
増減率(%)	-4.5	27.7	-1.3	7.4	-18.9	-24.2	0.0	-14.3	-18.0	-21.0	-6.4

### 3 死亡事故の特徴

#### (1) 道路別

国道が30人(41.1%)、市町村道が20人(27.4%)、道道が14人(19.2%)となっている。

- ・ 国道は、非市街地直線が9人(30.0%)、非市街地カーブが7人(23.3%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が10人(50.0%)、市街地直線が6人(30.0%)
- ・ 道道は、非市街地カーブが5人(35.7%)、非市街地直線が4人(28.6%)

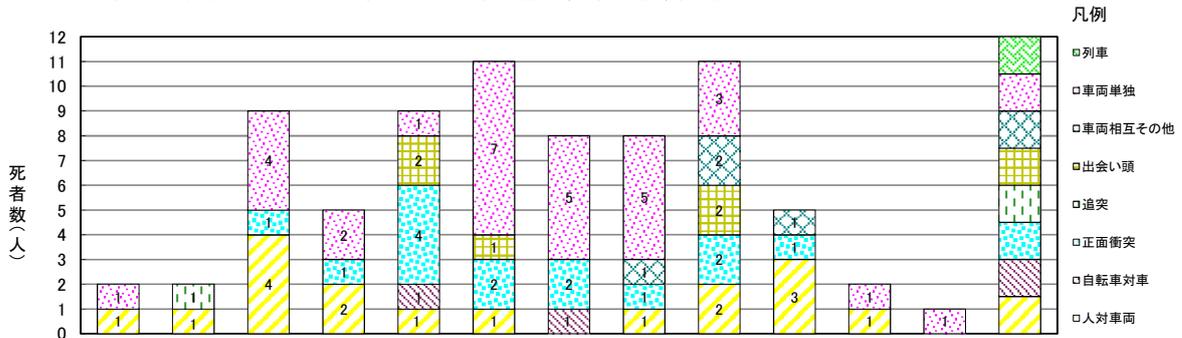


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	30	14	20	3	6	73
構成率(%)	41.1	19.2	27.4	4.1	8.2	100.0
過去5年構成率	39.7	24.3	28.3	2.1	5.6	100.0

#### (2) 時間別

10～12時、16～18時が各々11人(15.1%)となっている。

- ・ 10～12時は、車両単独が7人(63.6%)、正面衝突が2人(18.2%)
- ・ 16～18時は、車両単独が3人(27.3%)、人対車両、正面衝突、出合い頭が各々2人(18.2%)

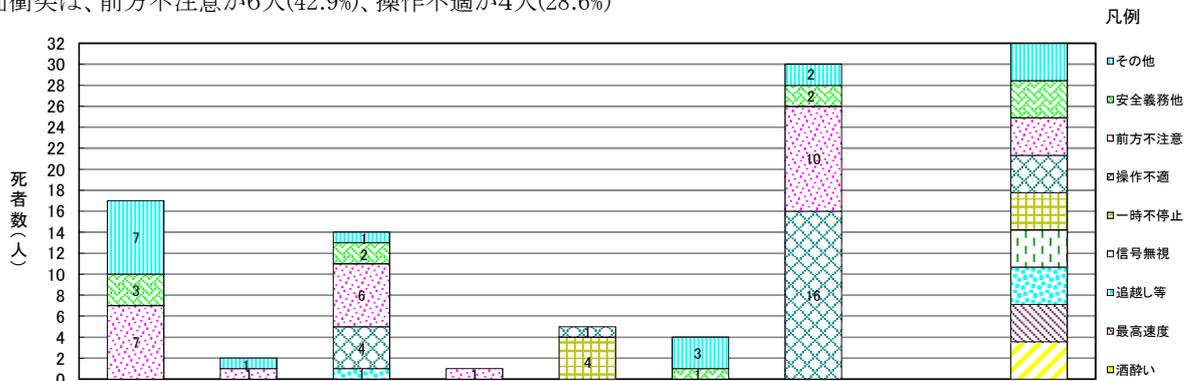


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数	2	2	9	5	9	11	8	8	11	5	2	1	73
構成率(%)	2.7	2.7	12.3	6.8	12.3	15.1	11.0	11.0	15.1	6.8	2.7	1.4	100.0
過去5年構成率	3.2	2.6	3.4	8.2	10.3	15.3	15.1	13.8	7.4	8.5	6.9	5.3	100.0

#### (3) 事故類型別

車両単独が30人(41.1%)、人対車両が17人(23.3%)、正面衝突が14人(19.2%)となっている。

- ・ 車両単独は、操作不適が16人(53.3%)、前方不注意が10人(33.3%)
- ・ 人対車両は、前方不注意、その他(歩行者妨害が含まれる)が各々7人(41.2%)
- ・ 正面衝突は、前方不注意が6人(42.9%)、操作不適が4人(28.6%)



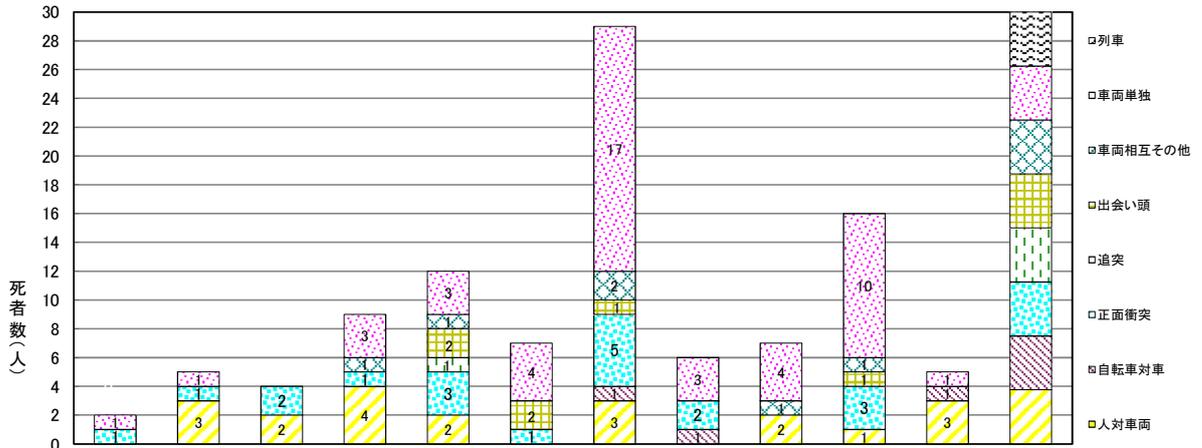
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出合い頭	その他			
死者数	17	2	14	1	5	4	30		73
構成率(%)	23.3	2.7	19.2	1.4	6.8	5.5	41.1		100.0
過去5年構成率	27.5	5.8	20.4	1.9	9.5	3.4	31.0	0.5	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別(第一当事者原付以上):

高齢運転者が29人(39.7%)、50歳代の運転者が12人(16.4%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、車両単独が17人(58.6%)、正面衝突が5人(17.2%)
- ・ 50歳代の運転者は、正面衝突、車両単独が各々3人(25.0%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	2	5	4	9	12	7	29	6	7	16	5	73
構成率(%)	2.7	6.8	5.5	12.3	16.4	9.6	39.7	8.2	9.6	21.9	6.8	100.0
過去5年構成率	9.8	3.7	6.9	17.5	12.7	8.5	35.7	12.2	9.0	14.6	5.3	100.0

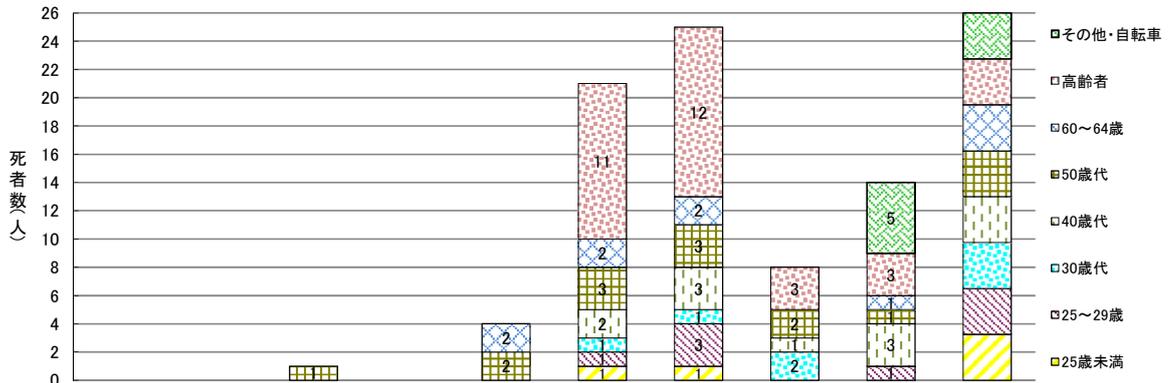
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別(第一当事者原付以上):

前方不注意によるものが25人(34.2%)、次いで操作不適によるものが21人(28.8%)となっている。

- ・ 前方不注意は、高齢運転者による死者が12人(48.0%)、25~29歳、40歳代、50歳代、運転者による死者が各々3人(12.0%)
- ・ 操作不適は、高齢運転者による死者が11人(52.4%)、50歳代運転者による死者が3人(14.3%)

凡例



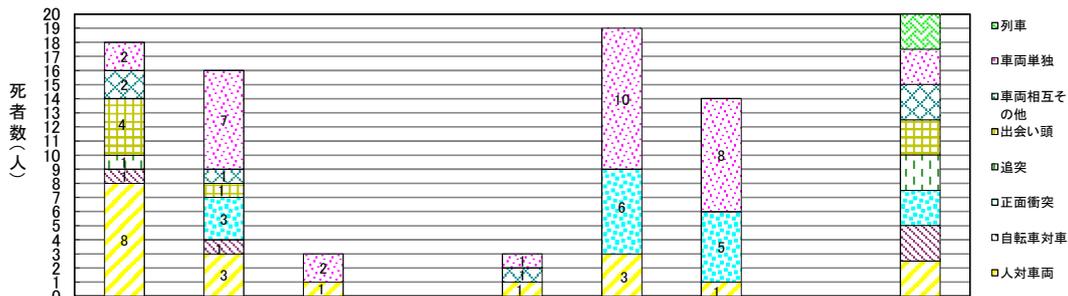
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数			1		4	21	25	8	14	73
構成率(%)			1.4		5.5	28.8	34.2	11.0	19.2	100.0
過去5年構成率	1.3	13.8	2.1	5.0	4.8	9.5	32.5	11.6	19.3	100.0

(6) 地形・道路形状別

非市街地直線が19人(26.0%)、市街地交差点が18人(24.7%)となっている。

- ・ 非市街地直線は、車両単独が10人(52.6%)、正面衝突が6人(31.6%)
- ・ 市街地交差点は、人対車両が8人(44.4%)、出会い頭が4人(22.2%)

凡例



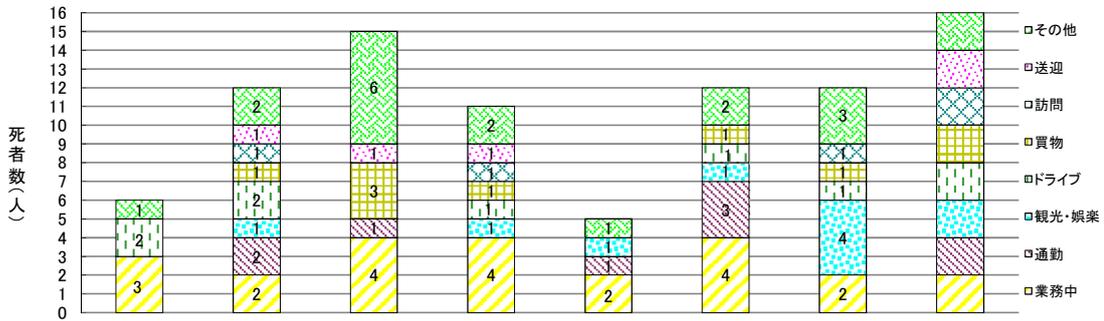
地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	18	16	3	37	3	19	14	36	73
構成率(%)	24.7	21.9	4.1	50.7	4.1	26.0	19.2	49.3	100.0
過去5年構成率	30.4	13.5	5.0	48.9	6.1	24.3	20.6	51.1	100.0

(7) 曜日別

火曜日が15人(20.5%)、月曜日、金曜日、土曜日が各々12人(16.4%)となっている。

- ・火曜日は、業務中が4人(26.7%)、買物が3人(20.0%)
- ・月曜日は、業務中、通勤、ドライブが各々2人(16.7%)
- ・金曜日は、業務中が4人(33.3%)、通勤が3人(25.0%)
- ・土曜日は、観光・娯楽が4人(33.3%)、業務中が2人(16.7%)

凡例



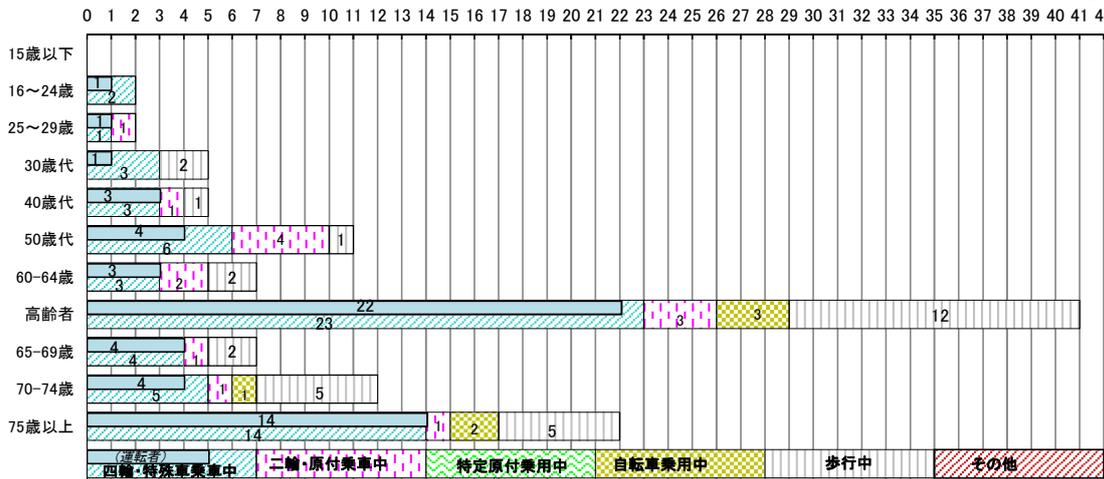
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	6	12	15	11	5	12	12	73
構成率(%)	8.2	16.4	20.5	15.1	6.8	16.4	16.4	100.0
過去5年構成率	19.0	12.4	15.3	10.6	14.0	14.3	14.3	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者数が41人(56.2%)、次いで50歳代の死者が11人(15.1%)となっている。

四輪乗車中の死者数が41人(56.2%)、次いで歩行中の死者数が18人(24.7%)となっている。

死者数(人)



状態別 年齢層別		四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数									2.9
16~24歳	死者数	2						2	2.7	6.9
25~29歳	死者数	1	1					2	2.7	2.6
30歳代	死者数	3				2		5	6.8	6.1
40歳代	死者数	3	1			1		5	6.8	9.8
50歳代	死者数	6	4			1		11	15.1	11.9
60~64歳	死者数	3	2			2		7	9.6	6.9
高齢者	死者数	23	3		3	12		41	56.2	52.9
65~69歳	死者数	4	1			2		7	9.6	11.4
70~74歳	死者数	5	1		1	5		12	16.4	10.6
75歳以上	死者数	14	1		2	5		22	30.1	31.0
計	死者数	41	11		3	18		73	100.0	
	構成率	56.2	15.1		4.1	24.7		100.0	—	—
	過去5年構成率	50.3	14.0		7.4	27.8	0.5	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

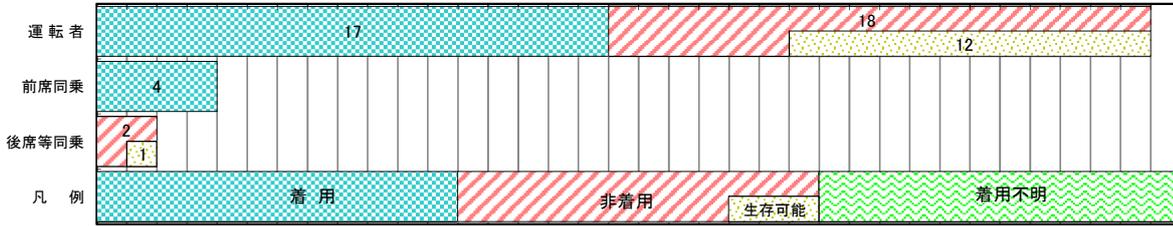
ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者41人中、シートベルト非着用者は20人(48.8%)となっている。

非着用者の20人のうち13人(65.0%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。

死者数(人)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36



区分	四輪乗車中	着用			非着用				着用不明	
		計	運転者	同乗者(助手席/後部席)	計	運転者(生存可)	同乗者(助手席/生存可)	同乗者(後部席/生存可)		
令和7年	41	21	17	4	20	18	12	0	2	1
構成率(%)	100.0	51.2	81.0	19.0	48.8	90.0	66.7	0	10.0	2.4

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が13人(65.0%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルム着用		1	2	2	5	1	10	2	3	5		21
構成率(%)		4.8	9.5	9.5	23.8	4.8	47.6	9.5	14.3	23.8		100.0
ヘルム非着用	2		1	1	1	2	13	2	2	9		20
構成率(%)	10.0		5.0	5.0	5.0	10.0	65.0	10.0	10.0	45.0		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者20人の損傷加害部位をみるとハンドル、ドア・窓が各々5人(25.0%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計	
ヘルム着用			4	2	1	2				4	2	5	1	21
構成率(%)			19.0	9.5	4.8	9.5				19.0	9.5	23.8	4.8	100.0
ヘルム非着用	2	1	5	1		5		1	2				3	20
構成率(%)	10.0	5.0	25.0	5.0		25.0		5.0	10.0				15.0	100.0
運転者	2	1	5	1		3		1	2				3	18
構成率(%)	10.0	5.0	25.0	5.0		15.0		5.0	10.0				15.0	90.0
同乗者						2							2	2
構成率(%)						10.0							10.0	10.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用者の合計数に対する割合。